

# 東日本ユニオン よこはま

JR東日本労働組合  
横浜地方本部  
発行者/ 松田 和秀  
編集者/ 教育・広報部

## 2018年度 第2四半期決算発表

単体決算は増収減益。営業収益・運輸収入は7期連続の増収  
物件費等が増加したことなどにより、全ての利益が減益

## 第2四半期決算としては過去最高!!

JR東日本は、10月29日に「2018年度 第2四半期決算」を発表しました。単体決算は増収減益。営業収益・運輸収入は7期連続の増収かつ、第2四半期決算としては過去最高となり、ただし物件費等が増加したことなどにより、全ての利益が減益となりました。連結決算は増収増益。営業収益は7期連続の増収かつ、第2四半期決算としては過去最高。また、営業利益が過去最高。経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益は増益でした。内訳として運輸事業は、当社の運輸収入が定期外収入を中心に増加したものの、物件費等が増加したことなどにより、増収減益。流通・サービス事業は、東京駅等の店舗の売上が好調であったことなどにより、増収増益。不動産・ホテル事業は、「ペリエ千葉」の全面開業、「ホテルメトロポリタン仙台イースト」「ホテルメトロポリタンさいたま新都心」の前年度開業に伴う増収効果などにより、増収増益。その他は、情報処理業やICカード事業の売上が増加したことなどにより、増収増益と発表しました。

単体決算

(単位は億円)

科 目	2017年度 第2四半期決算	2018年度 第2四半期決算	増益金額	前年比 (%)
営業収益	10,560	10,632	71	100.7
運輸収入	9,317	9,374	56	100.6
営業利益	2,551	2,482	△69	97.3
経常利益	2,389	2,317	△71	97.0
四半期(当期)純利益	1,684	1,652	△32	98.1

単体では営業収益・運輸収入、連結では営業収益が7期連続の増収であり、第2四半期としては過去最高です。  
JRで働く全ての労働者の力で、2018年末手当要求満額を勝ち取ろう!!